

■ プログラムをお使いいただくにあたって

● 親学習プログラムとは？

子どもの理解や、子どもへの接し方、親子のコミュニケーション等、子育てに必要な知識やスキルについて、保護者同士が身近なエピソードやワークを通して話し合い交流しながら主体的に学ぶ、参加型の学習プログラムです。

ワークには決まった答えがあるわけではありません。無理に答えを出すこともありません。参加者同士が話し合いを進めていく中で、自分自身の問題に気づいたり、親としてのあり方や役割について考えたり整理をしたりするきっかけとすることがねらいです。

また、子育て中の人だけでなく、子育てが終わった人や、将来、親となる中学生や高校生も学習できるような内容になっています。

● テキストの構成

子どもの発達段階を4つに区分し、そこに全保護者を対象としたプログラムと中学生・高校生を対象としたプログラムを加え、全6章で構成しています。

- I 全保護者を対象としたプログラム
- II 乳幼児期～小学校低学年の子どもを持つ保護者の方を対象としたプログラム
- III 小学校低学年～中学年の子どもの子どもを持つ保護者の方を対象としたプログラム
- IV 小学校高学年～中学生の子どもを持つ保護者の方を対象としたプログラム
- V 中学生～高校生の子どもを持つ保護者の方を対象としたプログラム
- VI 将来親となる中学生～高校生を対象としたプログラム

● 標準的なプログラムの流れ

時間	アクティビティの展開	展開のポイント・留意点
10～25分	○アイスブレイク ○グループ分け	○ワークや様々な手法で参加者の緊張や場の雰囲気 を和やかにします。 ○メインの活動の導入として行うこともあります。 ○話し合い等の活動が行いやすい人数（4～6人） でグループを作ります。
30～70分	○ワーク グループでの話し合いなど	○エピソードやデータ、写真などをもとに、個人や グループでワークを行います。 ○話し合いやシミュレーションなど内容は様々です。
10～25分	○ふりかえり	○参加者自身の気づきや、他の参加者の意見を聞き、 学習の整理、共有の場とします。

● プログラムの進め方 ～ファシリテーターの方へ

このプログラムはファシリテーター(促進役)が進める参加型の学習プログラムです。

○プログラムの実施に必要なスタッフ

このような活動に慣れている場合は、一人で行っても構いませんが、多くの人が集まって参加型で行う学習プログラムの場合、どんなに事前に準備をしても、予期しないできごとが起こることがよくあります。複数のファシリテーターで行うか、進行の補助(受付、資料の準備、参加者の質問の受付など)を手伝ってくれる人などがいれば、よりスムーズに進めることができます。

○プログラムの選定

このプログラムは子育て中の人や子育てが終わった人、これから子育てをする人などが集まる場所でも行うことができます。参加者が子育て中の人の場合は、基本的には子どもの年齢によって該当する区分のプログラムを行います。違う区分のプログラムを実施することもできます。その場合も、参加者に合わせて、アレンジする必要がないか十分に検討します。

○各プログラムの進め方

本プログラムを活用した学習の具体的なねらいや展開の例を、後半のマニュアル編(P47～)に各プログラム毎に記載してあります。各プログラムの学習時間は概ね90分から120分で展開例を作成しています。これらは、モデルケースとして想定した例なので、参加者の状況や人数、使用する場面や時間、場所等の様々な要素にあわせて展開の仕方を工夫してご活用ください。

○学習の形態

話し合いやワーク等の活動が効果的に行えるグループの人数の目安は4～6人です。予めグループ分けをしておくことも考えられますし、アイスブレイクを行う中でグループを編成することも可能です。グループに意図を持たせたい場合もあるでしょう。参加者の状況、学習のねらい等に応じて編成しましょう。

○テキストの提示方法

見開き1ページにエピソードや書き込み欄、データなどが掲載されています。そのまま印刷をして使うことが可能ですが、プログラムによっては部分ごとに提示することが効果的な場合もあります。学習の場面に応じ、工夫してご活用ください。

● ファシリテーターのすべきこと、してはいけないこと

☆すべきこと

- 参加者一人ひとりを尊重し、安心して参加できるように促すこと
- 一人ひとりの発言に耳を傾け、プログラムの進行に生かすこと
- 全ての人に参加できるように配慮すること
- プログラムの進め方やファシリテーターの範囲を超えた問題について相談できる人を探しておくこと

☆してはいけないこと

- ×参加者に発言を強要したり、故意に一部の人の意見聞くこと
- ×参加者の発言を批評したり、自分の意見を押しついたりすること
- ×プログラムの中で知った参加者個人の情報を他の人に知らせること

● 学習を始める前に参加する方とともに確認しましょう

尊重 ▶ 参加者が互いの考えや感じ方を尊重しよう

- 相手の意見に耳を傾けましょう。自分の気持ちにも耳を傾けてみましょう。
- 一人で話し過ぎないようにしましょう。（時間の平等）
- 発言は強制ではありません。聞いているだけでも十分参加していることになります。

参加 ▶ プログラムに積極的に参加しよう

- 参加者全員で作っていく学習プログラムです。参加者一人ひとりが、積極的に参加するよう心がけましょう。

守秘 ▶ プログラムで知った参加者個人の情報は持ち帰らない

- 学習プログラムという同じ機会を共有した参加者同士だから、安心して話しができたのです。そこで知った参加者個人の情報はその場において帰ることにして、他の人に話したりしないようにしましょう。

■ 親学習プログラムテキストについて

IV 小学校高学年～中学生の子を持つ保護者の方を対象としたプログラム

IV-4 異性に関心を抱くはじめた子どもについて考えてみましょう。

思春期は異性に対する関心が高まる時期です。なかなか子どもと向かって話しづらいと感じる方もあります。ここでは、思春期の子どもに対し、親として何を伝え、どう接していけばよいか話し合ってみることにしましょう。

エピソード

● 思春期相談コーナー ●

私の娘、中学2年生なんですけど、何だか好きな男の子がいるらしく、スタイルとか、髪型とかそんなことはわかり気になって、勉強にも集中してないように思うんです。
男の子から電話も結構かかってきているようです。自分の部屋に行って話しているのどなん話をしているのかわかりませんが、嫌がりたさもたまにはあります。体も大人に近づいてきているし、何かと心配です。

相談者 Aさん

この間、息子の部屋をそうじしたら、ベッドの下からグラビア雑誌が出てきました。私も女性だから自分体のことや気持ちのことなどよく分らないんですけど、息子も男に伝えたいし私は何を伝えたいかよく分らないです。

相談者 Bさん

身近な生活の一コマや写真、マンガなどから参加者一人ひとりの感じたことや経験などを出し合い、テーマに向かうきっかけとします。

相談者 C君

ワーク1 エピソードを読んで感じたことを、自分の経験（思春期の頃、現在のお子さんのこと）も含めて、話し合ってみましょう。

直接書き込みができます。

ワーク2 A、Bさん、C君へどんなアドバイスをお願いしますか？

	あなたからのアドバイス	グループからのアドバイス
Aさん		
Bさん		
C君		

個人・グループでの活動をとoshi、学習を進めていきます。

ワーク3 あなたが伝えたいことを、どのように伝えてみましょう。

○あなたが伝えたいこと

○伝えるためにめがけたいこと

資料 性行為に対する考え

Q. あなたは性交（セックス）することについて、どのように考えていますか？

項目	中学男子		中学女子	
	395人	100%	393人	100%
結婚するつもりなら性交してもよい	29	7.3	24	6.1
交情が学業に支障を及ぼさなければよい	53	13.4	89	22.6
好きな人なら性交してもよい	55	13.9	78	19.8
お互いに納得すれば性交してもよい	92	23.3	51	13.0
チャンスがあれば性交してもよい	14	3.5	2	0.5
絶対に性交してはいけない	243	61.5	244	62.1
結婚するまでは性交してはいけない	37	9.4	26	6.6
考えたことがない	93	23.5	111	28.2
回答の割合				
無回答				

テーマについての話し合いや、学びを深めるための材料を掲載しています。

■ 参加していただくにあたって

● 親学習プログラムとは？

話を聞くだけでなく、参加者同士が、身近なエピソードやワークを通して話し合い交流しながら子育てについて主体的に学ぶ、参加型の学習プログラムです。

4～6人のグループになり、話し合いを進めていく中で親としてのあり方や役割について考えたり整理をしたりすることをねらいとしています。

● ファシリテーターってどういう人？

プログラムを進行していく人をファシリテーター（促進者）と呼びます。参加者の学習の目標を達成することをサポートします。

● 参加するにあたって心がけることは？

グループでの話し合いが中心になります。参加者が楽しく学べるよう次のことを心がけましょう。

- 尊重** →参加者が互いの考えや感じ方を尊重しよう
参加している人がお互いに気持ちよく参加できるように配慮しましょう。
- 参加** →プログラムに積極的に参加しよう
ひとりひとりの積極的な参加で進んでいく「参加型学習」のプログラムです。
- 守秘** →プログラムで知った参加者個人の情報を持ち帰らない
ここで知ったプライバシーはここにおいて帰りましょう。

● どんなところで使うの？

